エグゼクティブらうんじ

マッシュルーム・ウィズダム
CEO
白田 正樹さん

■企業データ：マッシュルーム・ウィズダムMushroom Wisdom / 所在地：1 Madison St, Bldg F6 East Rutherford, NJ 設立年：1991年 / 事業内容：キノコなどの抽出物を使ったサプリメント・化粧品の製造販売 / ウェブサイト：www.mushroomwisdom.com

■個人データ：しろた・まさき / 役職：CEO / 出身地：仙台市 / 学歴：68年仙台二高、73年東北大学経済学部卒業 / 職歴：73年川崎重工入社。76年造船営業駐在員としてNY勤務。86年日系投資銀行でM&Aなどを担当。91年マイタケ・プロダクツ設立（後に社名を変更）/ 居住地：NJ州パラマス / 好きな作家：小池真理子 / 好きな音楽：バロック音楽と合唱（とくにバーバーショップと多田武彦）/ 好きな言葉：義に過ぐれば固くなる。仁に過ぐれば弱くなる。（新渡戸稲造が『武士道』で引用した伊達政宗の言葉）64歳

400年の夢、NYから歌の使節団

「ハポンさんとの交流の広がりが楽しみです」。今から400年前、仙台藩主伊達政宗が、支倉常長を大使として派遣した「慶長遣欧使節」の随行者の末裔が多く住む町、スペイン南部のコリア・デル・リオ市。その400年事業として世界遺産アルカサル宮殿（セビリア市）での仙台とコリア市の合唱団による合同演奏会を企画した白田さんは今その準備に追われている。ニューヨークを拠点とする混声合唱団ジャパン・コーラル・ハーモニー「とも」（阿部友子団長）の指揮者でもある白田さんは仙台生まれの仙台育ち。当時世界に君臨したスペイン王やローマ法王と仙台を築いた奥羽王、政宗との交流は、夢とロマンの世界そのもの。「ハポン姓」を名乗る彼らはコリア市付近に800人いると言われ、自らがサムライの末裔だと信じて疑わない。市内には1992年に仙台市から寄贈された支倉常長像があり、東日本大震災の直後に、ハポンさんたちは支倉像に集まり追悼会を開き、遠い故郷の復興を願って「俳句」を詠み石巻市に贈った。白田さんが代表をハポンさんらの俳句を推敲した俳人の黛まどかさんや仙台の合唱団「萩」などがこれに参加した。今年は逆に日本からスペインに合唱団が訪問し、ニューヨークからも合流して交流を持つのだ。白田さんのNPOは俳句を務めるNPO「風の環コンサート」はこれを受けて昨年夏、ハポンさん代表やコリア市の合唱団を石巻と仙台に招待した。通じての交流も深めるために石巻から被災者（中学生を含む）ら4人も招待している。

合唱は、仙台二高時代から。東北大学でも男声合唱団で指揮者を務め、川崎重工に就職してからも続けた。

アメリカ生活は、1976年に川重の造船部門の営業駐在員としてニューヨークに赴任。82年に米造船設計大手に入社し、投資銀行勤務などを経て独立、91年に薬用キノコから抽出したエキスを使ったサプリメントの製造販売会社マッシュルーム・ウィズダムの前身マイタケ・プロダクツを起業した。研究者とベンチャーキャピタルなどを結ぶ中で出会った道だった。

現在、舞茸や山伏茸など14種類のキノコのサプリメントや化粧品を全米展開し、抗糖尿用や抗アルツハイマーの活性成分を特定して主要国で特許を取得、日米だけでなく35か国以上に輸出している。3年前には同社の主力商品Dフラクションが癌細胞を自然消滅させる作用（アポトーシス）を誘導する遺伝子を発現させている事実をアルゼンチンの学者らが突き止め世界的に注目を集めた。

公私共に多忙を極める白田さんにとって、歌うことが、なによりもの健康維持と免疫力を高めることに役立っているようだ。

（三浦良一記者、写真も）